科目名	応急手当							年度	2025
英語科目名	First Aid						学期	後期	
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	心/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山下 恵子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		救命排	效急士

【科目の目的】

この科目の目的は、緊急時に適切な応急手当を提供し、急性の健康問題に対処する能力を養うことです。学生は、異常状態 やけがをした人々に対して適切な応急手当を行うスキルと知識を獲得します。

【科目の概要】

この科目では、緊急時に必要な応急手当に焦点を当てます。学生は、AEDの使用方法や気道異物の除去、出血やけがの対処、 熱傷や溺れた人への応急手当などの基本的な技術を学びます。

【到達目標】

AEDの使い方 気道異物除去の方法 倒れている人への対応 出血している人への対応 けがをしている人への対応

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席 しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。

亚灯甘淮 _ 4 _ 考儿 _ 4									
	評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	AEDの操作手順を正確に理解し、実践的に使用できる	AEDの操作手順を正 確に理解し、実践的 に使用できる能力を 示す	手順を理解し、簡単	AEDの操作手順を一 部理解しているが、 緊急時に適切に使用 できるか不確かな場 合がある	AEDの操作手順や使 用方法を理解してお らず、使用する自信 がない				
到達目標 B	気道異物の除去手順 を正確に理解し、安 全かつ迅速に対応で きる	気道異物の除去手順 を正確に理解し、基 本的な状況で安全に 対応できる能力を示 す	気道異物の除去手順 を理解し、基本的な 状況で対応できる		気道異物除去の手順 や対応方法を理解し ておらず、対応が難 しい場合が多い				
到達目標 C	るアプローチや対応 手順を適切に理解 し、適切な応急手当	倒れている人へのア プローチや基本的な 対応手順を理解し、 適切な応急手当を提 供できる能力を示す	プローチや基本的な 対応手順を理解し、 簡単な場面で応急手	倒れている人へのア プローチや対応手順 を一部理解している が、適切な応急手当 ができるか不確かな 場合がある					
到達目標 D	出血している人に対 する適切な止血方法 や応急手当を理解 し、適切な措置を取 る能力を示す	する基本的な止血方 法や応急手当を理解 し、適切な措置を取	する基本的な止血方 法や応急手当を理解 し、簡単な場面で適	出血している人への 対応方法を一部理解 しているが、適切な 措置を取る自信が不 足している場合があ る	出血している人への 対応方法を理解して おらず、適切な措置 ができていない場合 が多い				

【教科書】

【参考資料】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、	実習、	演習のい	ゞずれかを記入。

	科目名		応急手当		年度	20)25			
英語表記			First Aid	学期	後期					
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価			
応急手当の基本 棚念	応急手当の重要性と	1 応急手当の目的	応急手当の基本概念の理解							
	応急手当の基本 概念	基本的なアプローチ	本的なアプローチ 2 重要なポイント			3				
		を理解する	3							
		AEDの基本的な使い	1 AEDの操作手順	AEDの正しい使用方法の習得						
2	AEDの使い方	方を学び、心肺蘇生 法との連携を理解す	2 心肺蘇生法との連携			3				
		る	3							
	与学用地 吟士の	気道異物除去の基本的	1 気道異物除去の手順	気道異物除去の方法の習得						
3	気道異物除去の 方法	の な手法を学び、窒息事 故への対応力を向上さ せる	2 応急措置のポイント			3				
			3							
4 倒れている人へ の対応	倒れている人への応 急手当の基本的なア プローチを学ぶ	1 意識確認	倒れている人への対応方法の習得	:	3					
		2 通報								
		3 基本的な応急手当								
5 出血している人 への対応	出血している人への 適切な応急手当方法 を学ぶ	1 出血の程度判定	出血している人への対応方法の習行	导						
					3					
		3 包帯の巻き方								
6 けがをしている 人への対応	けがをしている人へ	1 けがの種類判定	けがをしている人への対応方法の習	得						
		の応急手当の基本的 なアプローチを学ぶ	2 傷口の処置			3				
	なノブローナを子ぶ	3 骨折への対処								
7 熱傷の対応		熱傷に対する応急手 当の方法を学び、適 切な処置を行う	熱傷に対する応急手	熱傷に対する応急手	熱傷に対する応急手	1 熱傷の程度判定	熱傷への対応方法の習得			
	熱傷の対応		2 冷却法			3				
			3 応急処置							
	温む デンフリー		1 溺れている人の救助法	溺れている人への対応方法の習得	:					
8 溺れている人へ の対応			2 心肺蘇生法との連携			3				
	1 %-	3								
ウムイン	応急手当のシナ		1 ロールプレイ	応急手当の実践力の養成						
9	ル志チョのシア		2 応急手当の総合的な演習			3				
		74 E 147 C E 9	3				<u> </u>			
	広刍毛当におけ	チームでの応急手当 の重要性と連携方法	1 チームワークの重要性	チームでの応急手当のスキルの向_	Ŀ.					
10	心忌チョにねりるチームワーク	の重要性と連携方法	2 効果的な連携			3				

Ī		を子か		1		1	1										
			3														
11 応急手当の倫理 と心構え	応急手当の実践にお ける倫理的な側面と 心構えを理解する	ける倫理的な側面と	ける倫理的な側面と	ける倫理的な側面と	ける倫理的な側面と	1	応急手当の倫理	応急手当における倫理と心構えの理解									
						ける倫理的な側面と	2	情緒的なサポート		3							
		3															
	12 応急手当の模擬 試験	学習内容を総合的に 確認し、応急手当の 実力を評価する	1	模擬試験	応急手当の実力の確認と向上												
12			確認し、応急手当の	確認し、応急手当の	確認し、応急手当の	確認し、応急手当の	確認し、応急手当の	確認し、応急手当の	2	フィードバック		3					
				3													
	1.5.2.1	ーックペノトハンハ	1	応急手当の高度なテクニッ ク	応急手当の実践テクニックの習得												
13 応急手当の実践 テクニック			ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス	ニックやアドバンス		2	特殊状況への対応		3
		3															
14 a r v — — ~ /	応急手当のスキルを維	性・白しをはてたはのし	1	トレーニングプランの作成	応急手当スキルの維持と継続的学習の意識												
	14 るトレーニング 持・向上させるためのトレーニング方法や継続的 2 情報収集		レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的	レーニング方法や継続的		3					
			3														
	上なて 少っよ 1		学んだ知識とスキル	1	学習成果の振り返り	学習成果のまとめと実践の準備											
15 応急手当のまと めと実践			2	実践への展望		3											
	準備を行う		準備を行う	3													

評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考等